

日本社会情報学会 (JSIS) ニュース

臨時号 2011.8.26

日本社会情報学会 (JSIS) 事務局

〒737-0182 広島県呉市郷原学びの丘1-1-1

広島文化学園大学社会情報学部今田研究室気付

TEL 0823-70-3300 FAX 0823-70-3311

e-mail : s-info@hbg.ac.jp

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

日本社会情報学会 (JSIS) 会費等振替口座 (ゆうちょ振替口座)

- ・口座名 日本社会情報学会
- ・口座番号 00140-2-763005
- ・口座住所 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17
三鷹ビジネスパーク SOHOプラザA-301
- 会費・和雑誌受領担当 和泉恵子
- ・e-mail : desk@NPOicom.com

- I プリカンファレンスのご案内
 - II 若手研究者支援部会「被災アルバムインデックス・カタログ」への寄付のお願い
 - III 2010年度長崎大会研究発表賞～受賞論文の概要
 - IV 日産財団平成23年度研究助成社会学分野募集
-

I プリカンファレンスのご案内

日本社会情報学会・若手研究者支援部会・災害情報支援チーム派遣隊リーダーズトーク

朝日新聞、河北新報、NHK、ディスカバリーチャンネル、ITMedia、アサヒカメラ、twitter・・・主要3大紙をはじめ、TV、ネットニュース、業界紙で驚異のメディア・フォロー率を誇り、社会情報学はおろか、日本の学術シーンにも衝撃を与え続けた「日本社会情報学会・若手研究者支援部会・災害情報支援チーム」、および『思い出サルベージアルバム

・オンライン』。「70万枚総複写」「大洗浄複写会・80人バスツアー」、「縮小するアーカイブ」など、次々と斬新な業績と提言を挙げ続けたBJKに、たったひとりの常駐部隊員に事欠き、交代要員に苦勞する時期があったことは、意外と知られていない。このプレカンファレンスは、BJKが常駐をはじめた4月にスポットライトを当て、まだ余震続く時期、試行錯誤された災害時の情報支援について考えたい。また対比として「80人バスツアー」をはじめ数十名のボランティア参加者を取り仕切った新藤氏にゲストとして登壇いただき、その対比から、情報社会とボランティアの本質についても考えてみたいと思う。災害・情報・支援の実態（裏側）を知りたい方、一緒に考えたい方、自分の被災地ボランティア経験を語りた方も、ぜひご参集ください。

司会 田代光輝（ニフティ株式会社）

報告者 第1次派遣隊長 柴田邦臣（大妻女子大学社会情報学部）

第2次派遣隊長 吉田 寛（静岡大学情報学部）

第3次派遣隊長 溝口佑爾（日本学術振興会・京都大学）

第4次派遣隊長 保井 元（静岡大学大学院）

第5次派遣隊長 亀井祥史（静岡大学大学院）

第6次派遣隊長 安達千李（京都大学）

坂本中避難所派遣隊長 保良康平（東北大学大学院）

スペシャルゲスト

複写隊長兼活動参加担当 新藤祐一（株式会社もずや）

参加料：1000円（軽食つき）

※ プレカンファレンスは、若手研究者支援部会が主催するものです。今回は東日本大震災の支援活動に参加した若手研究者を中心としたテーマ設定を行っております。

※ プレカンファレンスは、申込用紙で事前申し込み・支払いができます。ぜひご利用ください。

※ 当日受付も可能です。受付にてお支払いください。

※ 各地の名産・お土産などありましたら、ぜひご持参ください。

※ プレカンファレンスの費用は軽食代に使用させていただきますが、残金が発生した場合は会計報告の上、「災害情報支援チーム」へのカンパとして若手研究者・ボランティアの派遣交通費に使用させていただければ幸いです。ご理解と協力のほど、お願いいたします。

Ⅱ 若手研究者支援部会「被災アルバムインデックス・カタログ」への寄付のお願い

被災したアルバムのデータを一覧にし、探しやすくした「インデックス・カタログ」の印刷費用の、ご寄附を募っております。なにとぞご協力のほど、お願いいたします。

(・口座名情報など、入金の手筈は相談させていただきます)

・入金金額 1口、178円 (おおよそ10枚分のカタログを印刷することができます)

10口 1780円

30口 5430円

50口 8900円

上記の3つの中からご選択ください。

・入金金額の管理がありますので、さらにご協力いただける場合は、以上の3つを組み合わせ、その都度ご寄附いただけますと幸いです。

・ご不明な点は、以下までお問い合わせください。

若手支援部会・災害情報支援チーム 松本 (matsumotosayaka@gmail.com)

【経緯について】

研究委員会・若手研究者支援部会では、現在、東日本大震災での被災地、特に被害の大きかった宮城県山元町にて、情報支援活動を実施しております。

<http://jsis-bjk.cocolog-nifty.com/>

<http://jsis-bjk.cocolog-nifty.com/blog/>

現在、もっとも重要になっているのが、「流されてしまったアルバム・写真の救済」です。仮設住宅で生活が落ち着きつつある中、ソフト面のサポートが必要になっています。また被災アルバムは、失われた地域の歴史、街の記憶という「情報」を留めた貴重な資料でもあります。「災害情報支援チーム」では、山元町災害対策本部の依頼を受け、プライバシー情報に配慮し適時法律の専門家のアドバイスを受けながら、そのデジタル化と返却を図る『思い出サルベージアルバム・オンライン』を実施しております。

<http://jsis-bjk.cocolog-nifty.com/blog/2011/07/868-7b08.html>

その中で火急となっているのが、被災アルバムの「インデックス・カタログづくり」です。1万冊弱のアルバムが、泥水を吸って傷んでおり、その中からご自身のものを見つけ出すのは困難です。特にアルバムを探しにいらしたお年寄りが座って探せるように、デジタルデータを利用してカタログをつくり、印刷しております。

すでに全体の1割程度を印刷し終えましたが、探しにいらっしゃった被災者の方には好評をいただいております。5割程度のカタログ作成が終わりましたが、印刷するための経費の

めどがたちません。

そこで、下院の皆様方からのご厚意をお願いする次第です。ご寄附いただいた金額、それによって印刷できたカタログ枚数は、学会事務局を通じてご報告し、それ以外のことに使用することはありません。多くの被災者の方々にアルバムをお戻しし、「情報」の力をもって寄与することができるよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

Ⅲ 2010年度長崎大会研究発表賞～受賞論文の概要

福西敏宏「学術情報のクロスメディア的社會共有環境構築の可能性」

現代社会において、「知」というものを形成するのに大きな役割を果たしていると考えられるのは学術情報と呼ばれる情報群であろう。論者が長年携わってきた学術出版というメディアは、学術情報の生産、検証、社会共有という一連の流れに深く関わっていた。そして書物を中心とする「『知』の共有」という使命感のもと、日本の出版界は繁栄してきた。しかし、インターネットの出現や、メディア環境の変化の中で、出版というメディア自体が、近年さまざまな困難を抱えるようになり、書籍を中心とした学術情報の社会共有環境は、近年、十分に機能するのが難しくなっていると思われる。一方で、科学／技術の急激な発展とそれにとともなう問題群に顕著に見られるように、ある種の学術情報が社会に与える影響は近年ますます大きくなっている。一方でその社会的意義が十分に理解されないことで、ある分野の学術研究の継続が困難になるような状況もまた深刻化しつつある。そのような状況のもと、学術情報の、より強力な社会共有環境の構築は、今日の社会状況にあって、喫緊の課題であるともいえよう。

本研究では、学術情報の社会共有の部分に焦点をあて、学術情報が社会的に共有される際に各メディアの中で行われる、情報の加工・編集に着目する。そのような加工・編集を、「学術情報」から「学術一般利用情報」への変換としてとらえ、その変換の機能を、「学術インタープリター」という概念として抽出した。そしてその機能は、各メディアの持つさまざまな特性や資源によって異なった現れ方をすることを本発表で示した。それらを組み合わせることで、より強力な学術情報の社会共有環境を構築する可能性を探るのが本研究の最終的な目標である。それはまた、困難に直面している出版の持つ新たな可能性を拓くことにもつながると考えている。

IV 日産財団 平成23年度研究助成社会学分野 募集

日産財団は、下記研究助成を募集致します。

※詳しくは財団HP (<http://www.nissan-zaidan.or.jp>) をご覧ください。

■研究分野 低炭素社会の「移動」に関する新たな価値創造のための社会学研究

(1) 「生活者が求める移動システム」に関する質的調査研究

(2) 「若者の移動に対する意識・価値観の変容」に関する研究 (含む近未来予測)

(3) 「移動に対する民族、地域による意識・価値観の違い」に関する研究

(4) 「移動体の遊戯性 (アート、デザイン等) の変容」に関する研究 (含む近未来予測)

■選考委員長 西本清一 (京都大学教授 物理化学)

■選考委員 奥野卓司 (関西学院大学教授 社会情報学) 他

■申請者の資格 日本国内外の非営利の学術研究機関に所属する研究者 (学生を除く)

※共同研究者は修士課程以上

■助成金額 100万円程度 (年間)

■採択予定件数 7件程度

■助成期間 平成24年4月より1年間

■応募方法と申請期間 当財団HPから申請 平成23年9月15日 (木) ~10月15日 (土)

■問い合わせ先 公益財団法人日産財団事務局

Tel 03-3543-5597 E-mail sato@nissan-zaidan.or.jp